

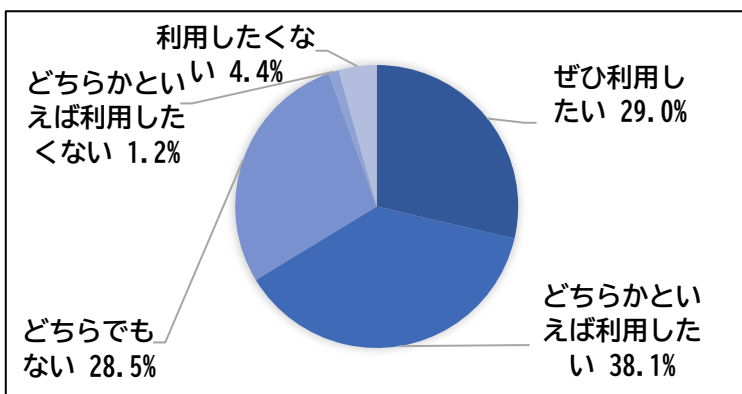
新庁舎整備に関する中高生アンケートの実施結果について

1. 対象者の属性

- 市内中高に通う、中学1年生～高校2年生の計1,208人を対象（R6.12.26～R7.2.7）
 - ・高校生：411人（大田1年110人、2年136人、邇摩1年88人、2年77人）
 - ・中学生：797人（1年268人、2年266人、3年263人）
- 回答者数
 - ・高校生：305人回答（74.2%）、中学生：624人回答（78.3%）

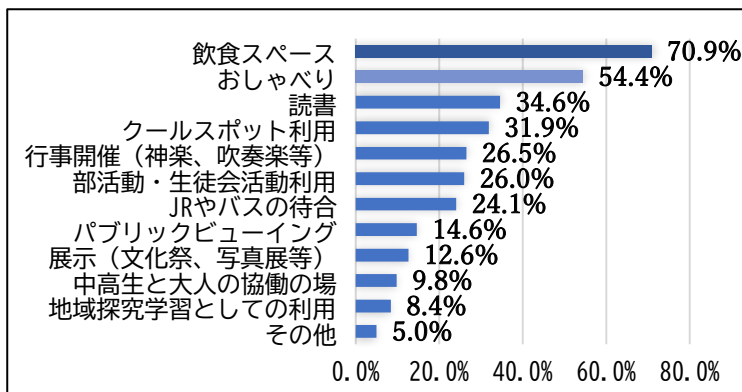
2. 対象者全体の傾向、特徴

（1）市民利用空間の利用意向（設問1）



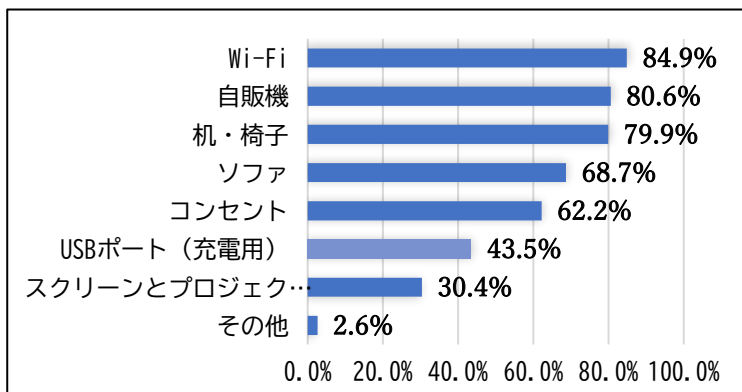
- ・7割近くの学生が市役所の多目的利用に関心を持っている。
- ・高校生は中学生に比べ「ぜひ利用したい」の割合が高く、積極的な利用可能性がみられる。

（2）市民利用空間の用途（設問1-1）複数回答



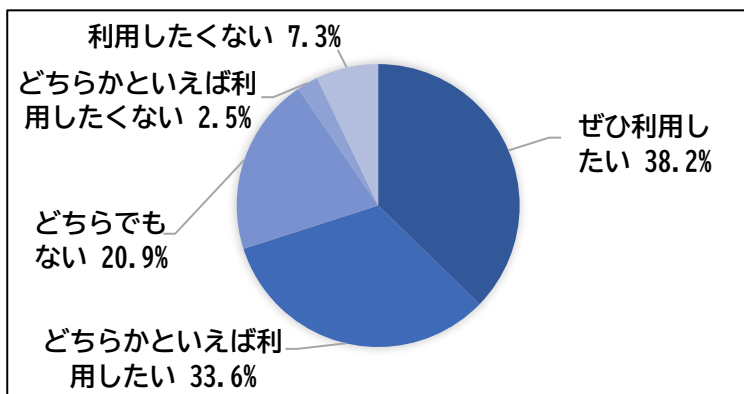
- ・飲食スペースは、学校帰りや休日のたまり場が少ないためか。
- ・「おしゃべり」や「読書」など、リラックスできる空間としてのニーズが強い。
- ・その他としては、コートなどの運動設備が複数みられた。

（3）必要な設備（設問1-2）複数回答



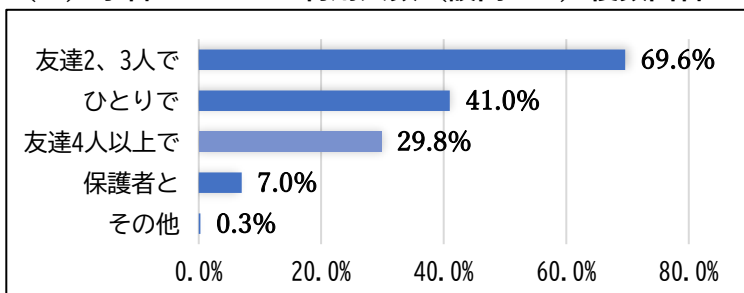
- ・Wi-Fi、自販機を始め、滞在に便利な設備は一通り要望が多い。
- ・その他要望としては「ステージ」「防音設備」など音響設備や、軽運動設備などが複数みられた。

(4) 学習スペースの利用意向 (設問 2)



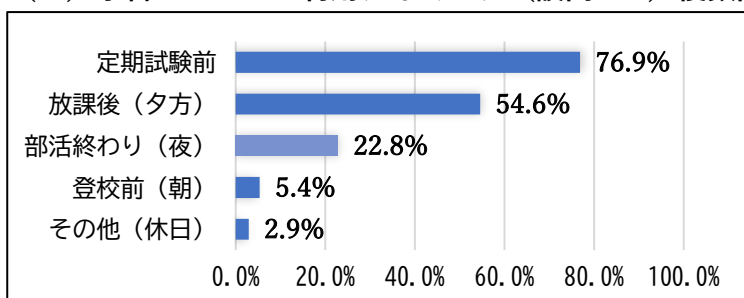
- ・ 7 割以上の学生が学習スペースの設置を前向きに捉えている。
- ・ 多目的利用より利用意向は強い。
- ・ 特に高校生は「ぜひ利用したい」の割合が高い。
- ・ 自由意見では現状スペース不足との意見が複数。図書館等の他施設との住み分けがポイント。

(5) 学習スペースの利用人数 (設問 2-1) 複数回答



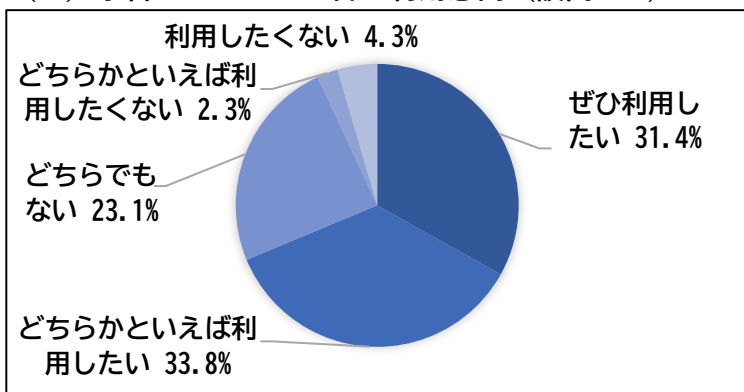
- ・ 複数人数での利用意向が多い。
- ・ 個人利用も一定程度ある。
- ・ 中学生は保護者との利用もあり。

(6) 学習スペースの利用タイミング (設問 2-2) 複数回答



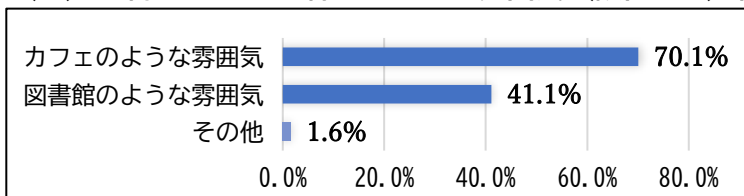
- ・ 「定期試験前」が圧倒的に多い。
- ・ 夕方の利用希望も高い。
- ・ 夜は、一定数の需要あり。

(7) 学習スペースの土日の利用意向 (設問 2-3)



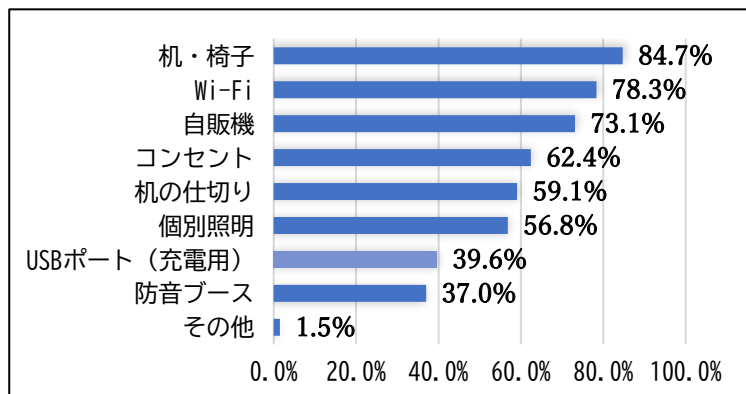
- ・ 利用希望は多い。
- ・ 高校生の方が利用意向は強い。

(8) 学習スペースの居心地のよい雰囲気 (設問 2-4) 複数回答



- ・ ゆったり、静か双方意見あり。
- ・ その他では、会話が許容される雰囲気を希望する意見。

(9) 学習スペースの必要設備（設問 2-5）複数回答



- ・ Wi-Fi、自販機を始め、滞在に便利な設備は一通り要望が多い。
- ・ その他は飲食に関する要望が中心。

(10) 自由意見の分析（設問 3）

- ・ 学習スペースや Wi-Fi の充実を求める意見が多い。
 - ・ 飲食スペースやリラックスできる空間の確保も要望されている。
 - ・ 特に中学生では、飲食のチェーン店などの要望も含め、飲食付きの滞在空間を要望。
 - ・ 高校生ほど「夜間利用」「防音対策」など、学習環境の質に関する要望が増える。
- 【特記：類似施設となる図書館との比較を挙げた意見の例】
- ・ 学習スペースが近くに図書館しかないため、試験期間前に混雑しすぎている。
そのため新たな学習スペースを増やしてほしい。
 - ・ 学生が学習に使える場所が図書館以外に利用できるところがなく困っている。
 - ・ 学習スペースは図書館にもあるので、図書館の休館日と学習スペースの休みの日が被らないようにしてほしい。
 - ・ 定期テスト期間中に図書館へ行くのは大変。市役所が駅近にできると聞いて、とても助かる。
※おそらく久手など、大田町外の駅沿いの学生と推定

(11) 総合分析と検討の方向性

項目	全体の傾向	検討の方向性
市民利用空間の需要	7 割近くが利用を希望	学生が気軽に立ち寄れる設計
利用用途の要望	飲食、会話の需要が高い	カフェ風、図書館風のスペースの両立
学習スペースの需要	7 割が学習利用を希望	夜間利用や防音ブースの検討 他施設との利用方法等による住み分け
必要な設備の要望	Wi-Fi、自販機、電源の需要高	電源、通信周りの充実
利用を想定する時期や時間帯	75%が試験前の利用を希望	試験前時期の席数などの運用変更

「交流スペースとしての役割」と「学習スペースとしての役割」の両立、住み分けが望ましい。
また「単に勉強できる施設が増える」ではなく、図書館やあすてらすなどの、他施設と異なる特徴を持った空間設計が望ましい。

➡例えば、一人でも複数でもリラックスしながら勉強をしやすい、など